



平成22年度広島県立総合技術研究所

研究成果集



平成23年3月

はじめに

平成22年度は円高とともに幕開けし、年度末には東日本大震災に見舞われています。いずれも経済活動に重大な影響を及ぼすことが懸念されます。この間にも中国やインドをはじめとする新興国の経済発展は着実に進展しています。かかる困難な状況で生き残る手立てのひとつが研究開発を起点としたイノベーションにより付加価値の高い事業を生み出すことです。

広島県立総合技術研究所では、県民、県内企業の方々が気軽に活用していただける研究機関を目指しています。ものづくりの技術向上にご努力されている方々に、当研究所が保有している技術や機能、設備機器をご活用していただくことが私共の目標です。一方で刻々と変化する社会に対応して我々自身も研究活動を通して変化しなければならないと考えます。新しく獲得した技術で新しい時代に皆様に活用していただく、そういった目的で研究活動を推進しています。

総合技術研究所を皆様に活用いただくためには、当研究所の活動や機能を県民の皆様にまずご理解していただくことが必要と考え、本研究成果集を毎年作成しています。技術相談、受託研究、共同研究、依頼試験、設備利用、人材育成、研究会活動等、皆様が総合技術研究所をご活用いただくための一助になればと思っております。

エレクトロニクス、バイオテクノロジーから材料、機械加工、食品加工まで幅広い技術領域をカバーしている機能を、皆様に活用していただくことが私共の使命です。

広島県立総合技術研究所は皆様の研究所です。

平成23年3月

広島県立総合技術研究所

所長 節家 孝志

広島県立総合技術研究所の概要

めざす姿

・県民や県内産業に対する貢献度の高い、スリムで効率的な試験研究機関

概略

- ・「産業活力の強化」と「県民生活の安全・安心の実現」を目指して、8センターの、工業から農林水産業・保健環境にわたる広範囲な技術分野を生かした横断・融合的な研究開発に取り組む
- ・特許保有件数 31件, 出願中91件
- ・高いレベルの試験研究機器
- ・地域のイノベーションを支える技術指導, 依頼試験

沿革

- ・平成16年4月 8センターの一元的管理組織を設置
- ・平成19年4月 8つの技術センター(10カ所)を統合した広島県立総合技術研究所を設立

人員等

- ・所長 節家孝志(民間から招聘)
- ・研究職228人, 行政職57人 計285人

平成23年度 当初予算

・約38億2,600万円

施設

